

関西広域連合 就農ガイド

関西広域連合の域内では、それぞれの自然・社会環境に応じた農業が展開され、その生産物は多様性に富んでおり、京都・大阪を中心に育まれた歴史と伝統ある食文化とともに発展してきました。

この「就農ガイド」では、関西広域連合域内で実施されている就農相談会の開催情報や就農研修制度、補助事業の概要などの就農支援情報を集約しました。関西での就農を目指している皆さんの「道しるべ」としてご活用いただければ幸いです。

目次

滋賀県	1
京都府	3
大阪府	5
兵庫県	7
和歌山県	9
鳥取県	11
徳島県	13
京都市	15
神戸市	17
堺市	19

Pick up !!

最新情報は

「[関西広域連合 就農促進サイト](#)」
をご覧ください。

▶ 検索ワードはこちら！

関西 就農

▶ QRコードからアクセス



平成29年度版
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 就農促進課

滋賀県

滋賀県農政水産部
農業経営課
〒520-8577
滋賀県大津市京町4-1-1
☎077-528-3845(直通)

滋賀県は、日本一大きな湖“びわ湖”をはじめとする豊かな自然に恵まれるとともに、大都市からの交通アクセスに優れた「ほどほど田舎 ほどほど都会」の暮らしぶりが魅力です。

気候は、平均気温14.7度、降水量1,571mm（東京：平均気温15.4度、降水量1,528mm）で、すごしやすい気候です。人口は1,413,079人（平成28年10月1日現在）で、平均年齢は年齢の若い順で全国3位、年少人口割合、出生率（人口千人あたり）は全国2位となっています。

※滋賀県移住・交流ポータルサイト

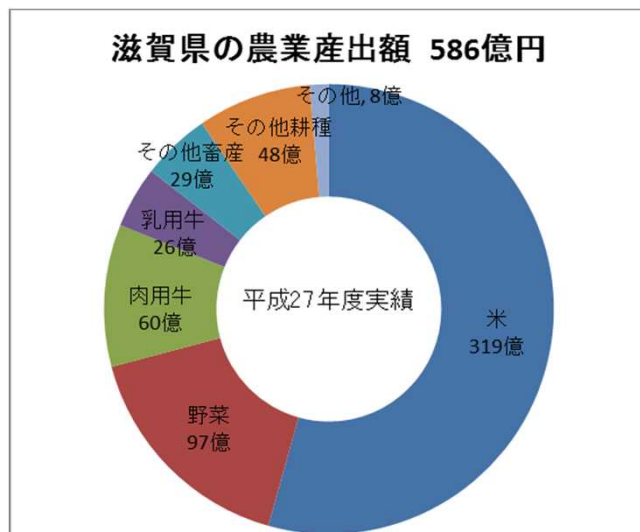
<http://www.pref.shiga.lg.jp/b/shichoson/iju/top.html>



◆滋賀県の農業

滋賀県の農業は、琵琶湖をはじめとする豊かな自然の恵みを受けて、近江米をはじめ、麦や大豆、野菜、果樹、茶など多彩な農産物が生産されています。また、近江牛をはじめ、乳用牛や養鶏等、高品質で安全な畜産物が生産されています。

新規就農者は、ビニールハウスなどを利用して、いちごやトマトといった施設野菜で自営就農したり、米等を生産する農業法人へ就職就農される事例が多く見られます。



◆先輩就農者の状況

①就農者数 平成28年度 110名

【内訳】

- ・非農家出身者68名、農家出身者42名
- ・45歳未満101名、45歳以上9名
- ・自営就農者52名、就職就農者58名

②品目

- ・自営就農52名のうち、野菜が30名、米が12名
その他（茶、花き、果樹、酪農等）10名
- ・就職就農58名のうち、32名が米、野菜が12名、畜産7名
その他（果樹、花き、茶等）7名

◆就農関連イベント・相談窓口

①就業フェア・農業体験など

内容	日時	場所
五感で感じるしごの農業体験	平成29年8月24日～26日	県内農業者
現地見学バスツアー	平成29年10月予定	県内就農者農場等
就農準備講座	平成29年9月10日および12月	滋賀県婦人会館他
農業で働く!魅力発見フェア	平成29年11月18日	龍谷大学
しごの農林水産業就業フェア	平成30年2月頃	未定

※予定が決まれば、県および下記②担い手育成基金のHPでお知らせします。

②就農相談窓口

県では、下記機関を「青年農業者等育成センター」に指定し、就農相談員による面談、電話、メール等による相談を一年を通じて受け付けています。詳しくは基金HP (<http://shiganou.com/>) をご覧ください。

名称	住所	電話番号
(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金	大津市松本1丁目2番20号	077-523-5505

※就農予定地が決まっている方等には、県の農業農村振興事務所農産普及課において、就農相談を受け付けています。

◆就農研修制度

滋賀県立農業大学校に「養成科」と「就農科」を設置しています。

「養成科」は、修業年限2年で、高度な専門知識と技術・経営能力を持つ農業者を育成します。「就農科」は県内で就農を目指す方々を対象に、1年間の実践的な農場実習や講義を行います。

名称	住所	電話番号
滋賀県立農業大学校	滋賀県近江八幡市安土町大中503	0748-46-2551

農業大学校HPアドレス <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo-nodai/index.html>

また、農業大学校以外に、県が認定した指導農業士123名において、研修を受けることもできます。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業や青年等就農資金、農の雇用事業等の事業を活用できます。また、その他の県や市町の支援策は、下記農水省HPに掲載しています。

http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/madoguchi.html#tiiki_shien

【お問い合わせ先】

滋賀県農政水産部農業経営課 ☎077-528-3845

(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金 ☎077-523-5505

京都府

京都府農林水産部
経営支援・担い手育成課
〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
☎075-414-4942(直通)

京都府は、長い歴史と伝統に育まれた文化や観光業、製造業、サービス業など多様な産業に恵まれています。農業においても、他にまねのできない京都ならではの競争力のある農産物づくりができます。

京都府では、京都農人材育成センターが就農から地域の定着に加え、経営の段階に応じた研修を行い、きめ細やかな就農・就業支援をいたします。



◆京都府の農業

京都府では農地の約80%を水田が占め、水稻が中心となっています。一方で、京のブランド産品に代表される野菜づくり（九条ネギ、京みず菜、万願寺とうがらし等）にも力を入れており、府内農業産出額の割合は野菜が米を上回っています。

【地域ごとの特色】

○丹後地域

米づくりが盛んな地域ですが、大規模な畑もあり、野菜や果樹、茶などの産地づくりが進められています。

○中丹地域

早くから進められてきたほ場整備がほぼ完了し、由良川沿いを中心に米づくりが盛んな地域です。

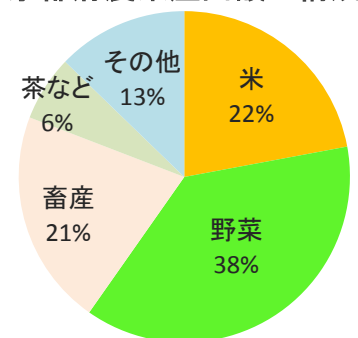
○南丹地域

米づくりを中心に、小豆・黒大豆などのほか、ブランド京野菜や枝豆の栽培も盛んです。

○京都市、山城地域

野菜や花、茶が多く作られています。消費地に近いため、農産物直売所での販売等に取り組むグループもたくさんあります。

京都府農業産出額の構成



平成27年生産農業所得統計

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 新規116名（うち新規参入88名）
- ②品目 京野菜を中心とする施設園芸を基本とした農業経営が主流です。
- ③地域活動 地域の担い手として、様々な活動での活躍を期待されています。
- ④農地取得 農地中間管理機構が、農地取得をサポートしています。また、担い手養成実践農場（右面参照）では、研修農地をそのまま活用して就農することができます。

◆就農相談

●農林水産業ジョブカフェ（下記の問い合わせ先参照）では、専門の相談員が常駐し、農業を始めたい方や田舎暮らしのために農村へ移住を考えている方への情報提供や相談に対応しています。午前9時から正午・午後1時から午後5時（日、祝日を除く）。要事前予約。

●京都府内での就農相談会の開催日程

会場	日時	場所
新規就農希望者と農村を結ぶ集い	平成29年7月30日	京都府立農業大学校
京都府農林漁業就業相談会	平成30年2月頃(京都府農業総合支援センターHP等で周知予定)	京都市内(予定)

※いずれも参加を希望する場合は、下記の（公社）京都府農業総合支援センターまでご連絡ください。

◆就農研修制度

研修名	開催日時	募集予定人数	場所	受講料	申込締切
就農プレインターンシップ制度 (1日又は3日体験コース)	ジョブカフェでの相談を通じて随時	予算に応じて	京都府内 (京都市内、 亀岡市内等)	無料	定員になり 次第終了
就農インターンシップ制度 (1～6ヶ月のOJT研修)	ジョブカフェ等での相談を通じて随時	予算に応じて	京都府内の 農業法人等	無料	定員になり 次第終了

◆補助事業の概要

事業名	事業内容	対象者	支援項目	備考	
担い手養成実践農場	就農準備型	就農予定地域に技術指導者や担い手づくり後見人を設置。最長2年間の実践研修で、技術習得から地域定着まで一貫支援。	農業を生業とした独立・自営就農を目指す方	・技術指導者、担い手づくり後見人設置 ・研修・就農地借上げ ・住宅家賃補助等 ・第三者経営継承のアドバイザー派遣	要件を満たせば、農業次世代人材投資事業との併用可
	経営開始型	就農後、間もない方に、技術指導者や担い手づくり後見人を設置。1年間の技術指導等で、確実な地域定着と安定経営を支援。	農業を生業とした独立・自営就農を開始した方	・研修・就農用農地、施設、機械の整備 ・住宅改修	
丹後農業実践型学舎	丹後国営開発農地を中心に、大規模野菜作の生産技術から販売戦略までの経営力の習得を支援。(研修期間2年)	大規模農業経営を目指す ・概ね40歳未満の若手農業者 ・新規参入法人	・丹後国営開発農地等での実践研修 ・商品開発や販路開拓力づくり研修 ・就農農地の確保(約2ha)と土地改良工事による営農条件整備 ・農業機械のリース支援 ・就農後の法人化支援		

【お問い合わせ先】 京都府経営支援・担い手育成課 ☎075-414-4942
 （公社）京都府農業総合支援センター ☎075-417-6847
 農林水産業ジョブカフェ ☎075-682-1800
 （京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階）

大阪府

大阪府環境農林水産部
農政室推進課経営強化グループ
〒559-8555
大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎22階
☎06-6941-0351(代表)

●大阪の魅力の一つは「食」

大阪は、江戸時代に「天下の台所」と呼ばれ、全国各地から様々な人やモノが行き交うことで多様な食文化が栄え、以来、大阪の魅力の一つとして豊かな「食文化」は欠かせないものとなっています。大阪では、その食文化を支える都市農業のメリットを生かした高収益型の農業が営まれています。



●府内880万人の消費者を相手に「もうける」農業を！

大消費地を抱えるメリットを最大限に活かした収益性の高い農業経営を目指して、近年多くの就農希望者が大阪府で農業をスタートしています。規模は小さくともキラリと光る「もうける」農業を目指す方を応援しています。

◆大阪府の農業

●大阪農業の特徴

- ・都市部という立地を活かした施設園芸等の集約的な農業経営
- ・しゅんぎく(2位)、いちじく(4位)、ぶどう(7位)などは全国でも有数の産地 ※()内は全国における収穫量の順位
- ・府内で生産された農産物を大阪産(もん)として統一ロゴマークでPR



880万人の大消費地で・直売所の売上げは約76億円

販路開拓のチャンス!! →府内には多数直売所があり、消費者ニーズは高い

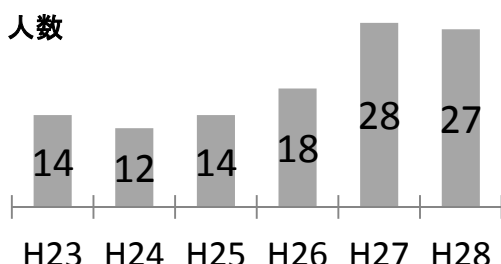
- ・新規参入者の多くが、近隣の直売所で販売するほか、自ら営業を行って、レストラン等の飲食店へ卸し、販路を拡大しています

●大阪農業の成長産業化に向けて【大阪府で実施する農業者へのサポート】

- ・新規就農者や若手農業者の経営をサポート → 農の成長産業化推進事業※
※農業ビジネススクール「大阪アグリアカデミア」や農業経営プランコンテスト「おおさかNo-1グランプリ」など
- ・農家女性の活躍を応援 → 大阪発☆女性農業者応援事業
- ・都市住民など多様な担い手の農業参入への支援 → 準農家制度
- ・障がい者雇用による企業等の農業参入をサポート → ハートフルアグリ推進

◆先輩就農者の状況

人数



＜新規参入者数の推移＞

- ・平成23年度～平成28年度にかけて、計113名が新規参入し、農業を開始
- ・都市住民など多様な担い手の農業参入への支援制度として、小規模な農地で農業経営を開始することが出来る準農家制度を設け、農業参入を支援

◆就農相談会

H29年度 開催および参加予定の就農相談イベント一覧

名称	日時	場所
おいでや!!いなか暮らしフェア	平成29年7月29日(土)	大阪マーチャンダイズマート
大阪府就農ガイダンス・相談会	平成29年10月(予定)	(未定)
新・農業人フェア	平成30年1月27日(土)	大阪マーチャンダイズマート

※大阪府では、毎週木曜日の午後に就農相談を随時受け付けております。事前に、下記お問い合わせ先「大阪府農政室推進課経営強化グループ」へ電話予約をお願いしております。

◆就農研修制度

○新規就農村 【H29新規事業】

新規就農希望者が、独立自営就農をめざして、週末を中心に地域の主力農業者等による農業の実践研修や座学研修を受けて新規就農を目指す制度

○大阪型農業インターンシップ制度 【H29新規事業】

農業体験や農業研修を希望する者が、府内の農業者のもとで体験やインターンシップ研修を受けられる制度

○戦略型農業人材マッチング支援事業 【H29新規事業】

大阪府が指定する品目の作物を栽培する農家のもとで、雇用就農するための事前研修を受ける制度

○地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校

養成科

学業期間：2年間（前後期制） ， 募集定員：25名

受験資格：募集年度3月に高等学校卒業見込みの者、高等学校卒業者、高等学校を卒業した者と同程度以上の学力があると理事長が認めた者 ※学生募集要項についてはこちら

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/noudai/guide/page008.html>

また、準農家希望者等を対象として下記短期プロ農家養成コースを開催しています。

研修名	研修日数・期間	予定定員	申込〆切
集中コース (野菜部門)	全40日程度／上期:4月～3月 下期:10月～9月	上期:10名 下期:10名	上期:3月24日 下期:9月中旬予定
集中コース (果樹部門)	全20日程度／上期:4月～3月 下期:12月～11月	上期:10名 下期:5名	上期:3月24日 下期:9月中旬予定
入門コース	全3日／7月および1月	どちらも25名程度	7月:6月23日 1月:12月予定

※受講料 集中コース 野菜部門:20,000円 果樹部門:10,000円 入門コース:1500円

・このほか、府内には独自の研修を行っている市町村やJAもあります。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業、青年等就農資金、農の雇用事業等の事業を活用できます。

【お問い合わせ先】 大阪府農政室推進課経営強化グループ ☎06-6210-9596
一般社団法人大阪府農業会議 ☎06-6941-2701

兵庫県

兵庫県農政環境部
農政企画局農業経営課
〒650-8567
兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1
☎078-341-7711(代表)

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海、太平洋に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、多様な自然環境を有しています。文化的、歴史的に形成された5つの地域“五国”（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）で構成され、それぞれの地域が気象条件や立地を活かした特色のある農業を展開しています。

兵庫県では、多様な就農希望者に対して、就農支援体制を整備し、地域特性に応じた支援を行うとともに、新規就農者に対して技術面や資金面において様々な支援を行っています。

◆兵庫県の農業

北部は水稻を主体とした地域であり、南部は温暖な気候を利用した多毛作地帯で、京阪神という大消費地を控えており、それぞれの立地条件や気象条件を生かした多彩な農業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、酒米の山田錦（1位）、丹波黒（黒大豆）（1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーションなどがあります。また、神戸ビーフは全国的にも有名なブランドとして知られています。



◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 297名（うち新規参入205名）
近年女性の割合が増えています。（平成28年度 14.8%）
- ②品目 野菜（施設および露地）が大半を占め、次いで水稻、畜産の順となっています。畜産での就農者のほとんどが繁殖・肥育和牛です。
- ③就農形態 独立就農者数と雇用就農者数の差はほとんどありませんが、近年雇用就農希望者が増えつつあります。

◆就農相談会

『就農希望者向け就農セミナー・相談会』

実施時期：平成29年8月6日（日）、平成30年2月下旬～3月上旬

場 所：神戸国際会館

内 容：就農情報提供や、県内の新規就農者による体験発表等を行います。
農業法人等による相談ブースを設置し、個別相談に対応します。

※ひょうご就農支援センターでも、随時就農相談を受け付けています。

女性向け相談ブース設置

◆就農研修制度

研修名	内容	開催日程	募集期間	実施機関
農業インターンシップ研修	農業体験を通じて、就農イメージを醸成する	随時	随時	(一社)兵庫県農業会議
新規就農者等育成研修(実践研修)	就農希望者を対象に農大の施設等を利用した実践的な研修	(1年間)平成29年9月1日～平成30年8月31日	平成29年5月1日～5月26日【募集終了】	県立農業大学校
就農準備研修(春期・冬期)	就農準備に必要な予備知識や研修制度について	(春期)平成29年5月18日 (冬期)平成30年2月8日	(春期)平成29年4月18日～5月10日【募集終了】 (冬期)平成30年1月9日～1月31日	
栽培技術基礎研修(施肥の基礎知識)	施肥の基礎知識(ミネラルの力)について	平成29年11月26日	平成29年10月16日～11月8日	
農作業技術基礎研修	農機具の使い方や安全な農作業について	平成29年5月25日、6月1日、6月15日	平成29年4月25日～5月17日【募集終了】	
農業経営基礎研修	農業経営の基礎知識や簿記について	平成29年6月29日、7月6日	平成29年5月29日～6月21日【募集終了】	
農の匠研修(6次産業化)	先進的経営事例等による研修	平成29年7月27日	平成29年6月27日～7月19日【募集終了】	
農の匠研修(チャレンジ就農者)	先輩新規就農者の経営事例を学ぶ	平成29年10月26日	平成29年9月26日～10月18日	
農の匠研修(ベテラン経営者)	ベテラン経営者の経営事例を学ぶ	平成29年11月9日	平成29年10月10日～11月1日	
ニューフロンティア技術研修	技術センターが開発した新技術について	平成29年10月4日	平成29年9月4日～9月26日	
新規就農駅前講座	働きながら就農のための基礎知識を習得する(4期、各6回)	①平成29年5月23日～6月24日、②7月8日～8月12日、③9月12日～10月14日、④10月28日～12月2日	2ヶ月前～	
生きがい農業コース	栽培の基礎知識と技術を習得する	6か月間(平成29年9月～平成30年2月)	平成29年6月中旬～	
就農コース	就農を目指して、総合的な知識と技術を習得する	1年間(平成29年8月下旬～平成29年9月上旬)〈週5日〉	平成29年6月上旬～	

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業、青年等就農資金、農の雇用事業

【お問い合わせ先】

ひょうご就農支援センター ((一社)兵庫県農業会議) TEL : 078-392-1222
 (公社)兵庫みどり公社兵庫楽農生活センター TEL : 078-965-2047
 兵庫県立農業大学校 TEL : 0790-47-2445
 兵庫県農政環境部農政企画局農業経営課 TEL : 078-362-9194

和歌山県

和歌山県農林水産部
農業生産局経営支援課
〒640-8585
和歌山県和歌山市小松原通1-1
☎073-432-4111(代表)

和歌山県は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、果樹を中心に野菜、花き等多くの農産物を生産する農業県です。近年は、自然に囲まれた環境で仕事ができる農業に魅力を感じ、実際に自分でやってみたいという方が幅広い世代で増えています。

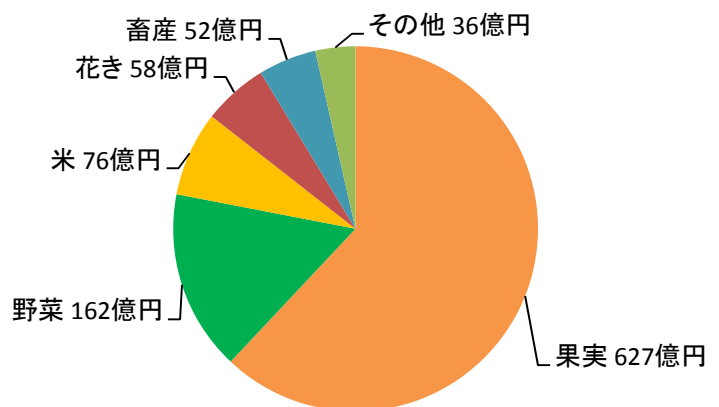


和歌山県では、農業をやりたいという様々な要望にお応えして、農業を始めるきっかけとしての就農相談や農作物の生産技術を身につける就農研修、就農支援事業の実施等就農前後のサポートを行っています。

◆和歌山県の農業

和歌山県の農業産出額の構成は全国・近畿とは大きく異なっており、果実の構成比が62%と半分以上を占めています。果樹（みかん、うめ、かき、もも）、野菜（えんどう、ししとう）、花き（スターチス）などが基幹品目で、全国でも有数の産地を形成しています。新規就農者の場合は、ハウスを使って、イチゴやトマトに取り組む事例も増えています。

平成27年 農業算出額（1,011億円）



和歌山県は変化に富む地形と気候の中で、それぞれの地域に適した農作物が生産されています。そのため、どの地域で就農するかで作る作物が制限され、逆に何を作るかで就農地が概ね決まります。情報収集したり、就農相談に訪れたりしながら、どのような農業を目指すのかを考え、自らの農業ビジョンを描いて下さい。

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 153名（うち新規参入 43名）
- ②品目 野菜（特に施設園芸）及び果樹栽培が多いのが特徴です。
- ③地域活動 新規就農者グループに参加したり、集落の祭りや自治会活動の担い手として活動したり、自らの経験を生かして活躍されています。
- ④農地取得 地域の農業者やJAからの紹介による農地の貸借が多いのが実態です。農地中間管理機構や各地域の農業委員会でも相談を受け付けています。

◆就農相談会

お気軽にご参加ください

名称	日時	場所
夜の就農相談会	平成29年8月10日（木）	和歌山県就農支援センター（御坊市）
朝日U・Iターンフェア	平成29年9月3日（日）	ヒルトンプラザウエスト（大阪市）
新・農業人フェア	平成29年9月16日（土）	名古屋市中企業振興館（名古屋市）
U・Iターン就農相談フェア	平成29年11月26日（日）	和歌山ビッグ愛（和歌山市）
新・農業人フェア（予定）	平成30年1月27日（土）	OMMビル（大阪市）
U・Iターン就農相談フェア	平成30年2月25日（日）	和歌山ビッグ愛（和歌山市）
新・農業人フェア（予定）	平成30年2月10日（土）	池袋サンシャインシティ（東京都豊島区）
U・Iターン就農相談フェア	平成30年3月11日（日）	和歌山県就農支援センター（御坊市）

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就農相談を受け付けています。

◆就農研修制度

（受講料無料・実費負担のみ）

開催場所：和歌山県就農支援センター（和歌山県御坊市）

研修名	研修日数・期間	予定定員	申込締切日
農業体験研修	毎月1回	10名/1回	研修日の10日前まで
ウィークエンド農業塾	全10日間/9～10月	15名	平成29年8月18日（金）
技術習得研修	全25日間/10～2月	8名	平成29年9月14日（木）

※平成30年度の就農研修制度は、平成30年2月頃に公表します。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資資金、青年等就農資金、農の雇用等の事業を活用できます。

平成29年4月 和歌山県農林大学校 始動！

注目

農学部アグリビジネス学科

詳しくは農林大学校HPで
<http://www.ag-wakayama.ac.jp>

企業的感觉に優れ、6次産業化や
 海外も視野に入れた戦略的に
 チャレンジできる人材を育成！

【お問い合わせ先】

和歌山県経営支援課
 和歌山県農林大学校農学部
 和歌山県就農支援センター
 和歌山県農業会議
 和歌山県農業公社

☎073-441-2932
 ☎0736-22-2203
 ☎0738-23-3488
 ☎073-432-6114
 ☎073-433-5547

最新情報は「和歌山県就農支援センター」ホームページでチェック！

農業に興味がある、農業を始めたいと思ったら、

和歌山 就農

検索

鳥取県

鳥取県農林水産部
経営支援課
〒680-8570
鳥取県鳥取市東町1丁目220
☎0857-26-7261

青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々。豊かな自然に囲まれた鳥取県では、特産の二十世紀梨をはじめ、特色ある数々の農産物が生産されています。

このような環境の中、鳥取県では、農業を始めようとする方へ向けた相談体制や各種研修、就農時の機械・施設等の導入助成の実施など、様々な支援施策を用意し、関係者が一体となって、新たに農業を始める方への応援を行っています。

◆鳥取県の農業

鳥取県では、米、野菜、果実、畜産がバランスよく営まれ、平野部の水田地帯、海岸線に広がる砂丘地帯、中国地方最高峰の大山山麓の肥沃な黒ぼく地帯など、地域の特性を生かした農業が行われています。

近年では、野菜での新規就農者が増えており、野菜では、スイカ、白ネギ、ブロッコリー、トマト、イチゴなど、地域にあった品目が選ばれています。特に、鳥取県西部を中心に生産されていた白ネギは、現在は県下全域に産地拡大し、新規就農者を取り組みやすい品目となっています。

また、果樹では梨の新甘泉、柿の輝太郎などの鳥取県オリジナルブランドの登場により、就農希望者の注目を浴びています。

鳥取県へ1ターン就農したご夫婦



◆先輩就農者の状況

① 新規就農者数 平成28年 132名（うち独立・自営就農者53名）

② 先輩新規就農者の紹介

他産業から新たに農業参入したIさん



◆経営品目：キュウリ、トマト、ナス

◆これから就農する人に一言

自信を持って農業を始められるよう、きちんとした営農計画を立てたり、必要な技術を身につけるなど、就農前の事前の準備を怠らない事が大切だと思います。

妻の実家で1ターン就農したSさん



◆経営品目：ブロッコリー、スイートコーン

◆これから就農する人に一言

鳥取県は基幹作物となる品目が多く、支援体制も手厚いので、参入しやすい場所でした。就農後は、農作業だけでなく、地元農家と積極的に交流し、地域に溶け込むことが大切です。

◆その他の先輩新規就農者からの一言

経営開始すると想定外の資金が必要になります。できるだけ多く自己資金を確保しておきましょう。また、同じ作物を作る先輩農家や同世代の仲間を増やし、相談しあえる環境を作ることも大切です。

◆就農相談会

鳥取県内での開催日程

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就農相談を受け付けています。

会場	日時
鳥取県立図書館 (鳥取市尚徳町101)	平成29年4月16日(日)
	平成29年7月16日(日)
	平成29年10月8日(日)
倉吉市立図書館 (倉吉市駄経寺町187-1)	平成29年5月28日(日)
	平成29年8月20日(日)
	平成29年11月5日(日)
米子市立図書館 (米子市中町8)	平成29年5月14日(日)
	平成29年9月17日(日)
	平成30年2月11日(日)

◆就農研修制度

研修の種類	内容	実施予定時期等	研修実施主体
アグリチャレンジ研修	公共職業訓練として、4ヶ月間、農業の基礎知識のほか、実践に活かせる基本技術を習得	6・10・2月開講 (受講料無料)	鳥取県産業人材育成センター 倉吉校
実践研修	先進農家実践研修	6・10・2月開講 (受講料無料)	鳥取県立農業大学校
	スキルアップ研修	4・10月開講 (受講料111,600円)	
	鳥取へJU!アグリスタート研修	自営就農を目指す者を職員(研修生)として雇用し、先進農家等で実践農業技術、経営ノウハウを習得	第11期生(予定) 平成30年2月から 最長2年間

※その他市町村農業公社等が実施する農業研修もあります。

◆補助事業の概要

事業名	事業の内容	事業費・実施期間
農業次世代人材投資事業	【準備型】就農予定時の年齢が45歳未満の者が、就農研修を受ける場合に資金を交付(最長2年間) 【経営開始型】就農時原則45歳未満の者に対し、就農後の経営安定、定着促進のため資金を交付(就農後最大5年間)	【準備型】 年間150万円 【経営開始型】 年間最大150万円
就農応援交付金	就農初期に係る運転資金、基盤整備費等に活用できる交付金を交付 ※農業次世代人材投資資金(経営開始型)の受給者は対象外	1年目：10万円/月 2年目：6.5万円/月 3年目：4万円/月
就農条件整備事業	就農時に必要な農業機械・施設を新規就農者が整備する場合や農協等がリースする場合に助成(1件当たり取得価格10万円以上)	事業費上限：1,200万円 補助率：1/2 期間：就農後5年以内
就農・暮らしアドバイザー	Iターン者等の新規就農者に対し、農業経営、農村生活に対する身近な相談役としてアドバイザーを設置	就農後概ね1年以内
親元就農促進支援交付金	認定農業者等の後継者が親の経営に従事しながら、親元で行う就農研修に対して助成(2年以内)	10万円/月

※農業法人等でのOJT研修への助成も行っています。(鳥取県版農の雇用支援事業)

【お問い合わせ先】 鳥取県農林水産部経営支援課 ☎0857-26-7261
(公財)鳥取県農業農村担手育成機構 鳥取本部 ☎0857-26-8349
米子本部 ☎0859-31-9644

鳥取県で農業を始めようと思ったら

鳥取県 就農 検索

徳島県

県立農林水産総合技術支援センター
経営推進課
〒770-8570
徳島県徳島市万代町1-1
☎088-621-2429(直通)

徳島県は、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、農産物の種類が豊富であり、「関西の台所」とも言われるほど、京阪神市場への一大供給産地としての地位を築いています。あなたもこの徳島で農業を職業としてがんばってみませんか？



春にんじんのトンネル栽培

農家出身者以外の方が農業を行うことは、栽培技術、農地の確保、生産物の販売、自然への対応、地域とのつながり、経営資金等いろいろな課題があります。

徳島県では、やる気のあるあなたの就農に関係するあらゆる相談に応じています。また、農業法人等で働いて農業に携わっていく方法もありますので、農業に興味があるあなた、ぜひ徳島県の相談窓口にご連絡ください。

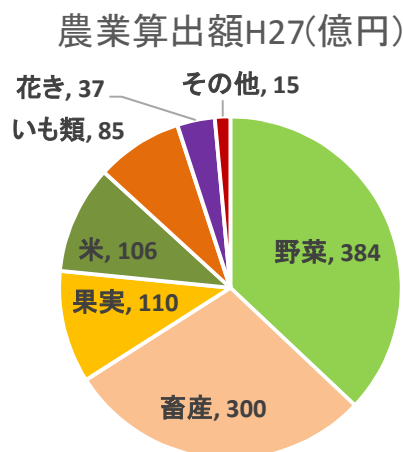
◆徳島県の農業

徳島県の農業産出額の構成は、部門別では野菜が37.0%を占めもっとも高く次いで畜産28.9%、果実10.6%、米10.2%の順となっています。

野菜では、徳島県農産物を代表するトップブランドのサツマイモ「なると金時」や全国一の生産量を誇る「春にんじん」、西日本一の生産量の「れんこん」などがあり、畜産では、地鶏肉生産量全国一を誇る高級地鶏「阿波尾鶏」が有名です。

果実では、全国シェアの98%を占める本県特産のすだちをはじめ、みかん、ゆずなどの生産が盛んです。

徳島県の農業は、本県の持つ変化に富んだ地形や気象条件をうまく生かし、四季を通じて消費者ニーズに即応した健康・安全でかつ新鮮な食材を京阪神地方を中心として安定的に供給しています。



◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 146名(うち新規参入者85名)
年齢別では、40歳未満が105名、40歳以上が41名
就業先別では、自営就農が72名、法人等への就業が74名
- ②品目 新規就農者の約8割が野菜栽培に取り組んでいます。野菜の他は果樹、畜産、花き、水稻となっています。

◆就農相談

徳島県では、就農相談窓口を設置し、随時就農相談を受け付けています。

- ①総合窓口 県立農林水産総合技術支援センター経営推進課
☎088-621-2429
- ②受入窓口 徳島県新規就農相談センター（一般社団法人徳島県農業会議内）
☎088-678-5611

また、「新農業人フェア」東京会場及び大阪会場に相談ブースを出展する予定です。

◆就農研修制度

とくしま就農スタート研修

徳島県では、本県で新たに農業を始めたい方が、円滑に就農できるよう、県内の農業法人等が研修生として雇用し実践的な技術を習得していただくための研修を実施しています。

- ①応募資格 徳島県で就農する強い意欲をお持ちの55歳未満の方
- ②研修期間 （第一回研修）平成29年7月1日～平成29年11月30日
（第二回研修）平成29年12月1日～平成30年2月28日
- ③募集人数 第一回と第二回をあわせて40名程度
- ④募集期間 （第一回研修）平成29年6月14日
（第二回研修）平成29年10月16日
- ⑤お問い合わせ 一般社団法人 徳島県農業会議
☎088-678-5611

農業チューター制度

新規就農者は、地域で優れた農業経営を行っている指導農業士等から農業生産技術のみならず農地の確保や地域農業の慣習にいたるまで、マンツーマンで指導・助言を受けることができる制度を活用できます。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資資金や青年等就農資金、農の雇用事業等の事業を活用できます。

【お問い合わせ先】

県立農林水産総合技術支援センター経営推進課 ☎088-621-2429
徳島県新規就農相談センター（県農業会議内） ☎088-678-5611

徳島県で新たに農業を始めたい方は、徳島県新規就農者のための情報サイト「農の宝島！！とくしま」(<http://tokushima-shuno.jp/>)をチェック！

農の宝島とくしま

検索

京都市

京都市
産業観光局 農林振興室 農政企画課
〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町488
☎075-222-3351

京都市は、市域面積の77%を農地と森林が占め、各地域によって気候風土が異なることから、古くから多種類の農産物が生産され、農業が盛んに行われてきました。市街地を囲む緑豊かな三山や、市街地内に多く残される農地は、京都市の自然環境を生かしたまちづくりに大きく貢献し、山紫水明の都を形成する礎となっています。

◆京都市の農業

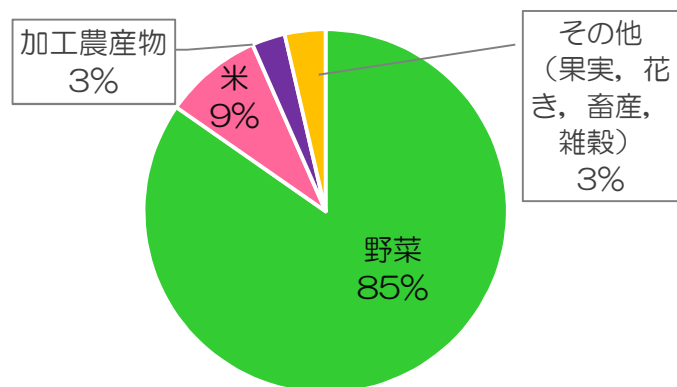
本市の農業生産額は、全体の85%を野菜が占めています。その中でも収穫量が多い品目は、キャベツ、なす、ねぎです。また、伝統野菜（賀茂なす、えび芋、堀川ごぼう 他）や新京野菜 ※（京てまり、京唐菜、みずき菜 他）など特色ある野菜も多く栽培されています。

農地の規模が小さい本市では、大消費地を抱えた優位な立地条件を生かし、京野菜をはじめ、水稻、花き、果樹など多様な農業生産が展開されています。また、観光農園や体験農園、特産物の育成等、地域の農業資源を生かした特色ある農業経営も行われています。

地域によって農地の状況や農業を行う環境が異なりますので、まずは現地に足を運んでいただき、自らの農業ビジョンを描きましょう！

※ 生産者や大学の協力を得て開発した京都の気候風土にあった新しい野菜。

平成27年度 京都市内農産物生産額の割合



◆先輩就農者の状況

- ①新規就農・就業者数（平成27年度実績） 34名
- ②主な営農類型 露地野菜
- ③農地取得方法 地域の農家の紹介による農地の貸借が多いです。地域の実態等については各農(林)業振興センターにお問合せください。また、農地中間管理事業についても相談を受け付けています。

◆就農相談会

独自の相談会は設けておりませんが、窓口及び電話相談は随時受け付けております。下記の連絡先にお気軽にお問合せください。なお、京都府の相談窓口は次のとおりです。

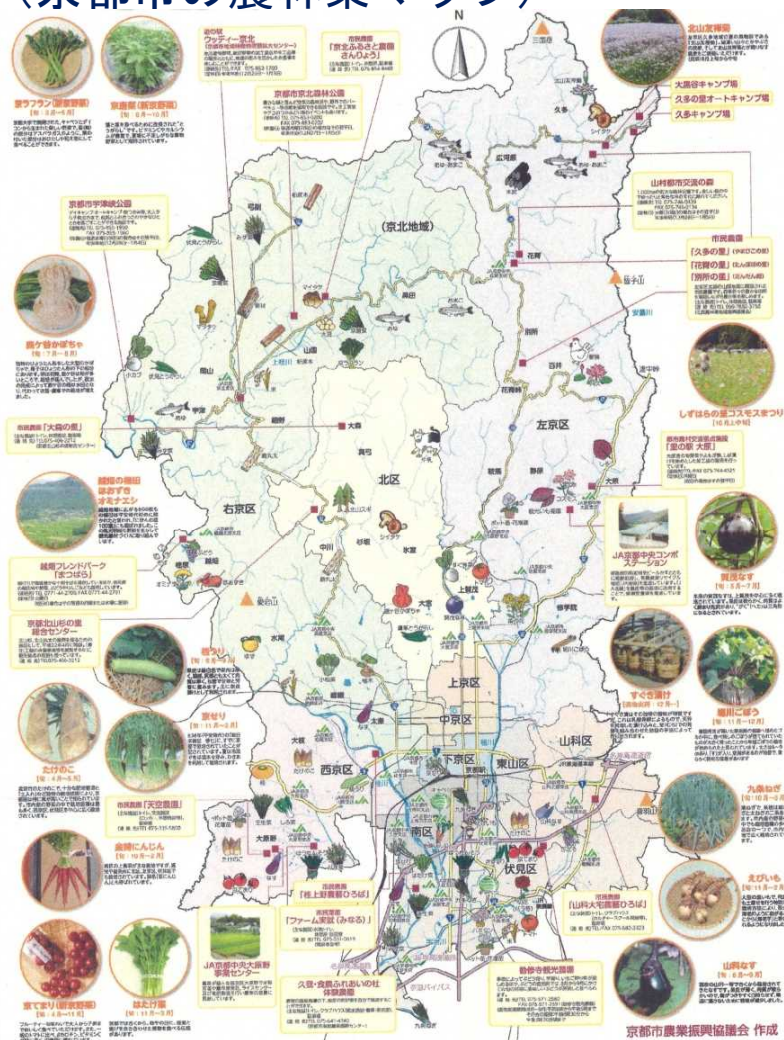
- ・京都ジョブパーク 農林水産業コーナー（075-682-1800）

◆独自制度

農業次世代人材投資資金（旧 青年就農給付金）を活用できるほか、「新規就農サポーター」を設置しています。この制度は、地域に設置されたサポーターが新規就農者を対象に、就農後に発生する課題等について相談役となって無料で助言・指導するとともに、技術的な指導を行うものです。

京都市はあなたの農業経営を全力でサポートします！

◆参考資料（京都市の農林業マップ）



【お問い合わせ先】

京都市農林振興室農政企画課

北部農業振興センター（北区，左京区，上京区）

西部農業振興センター（中京区，下京区，南区，右京区（京北地域除く））

東部農業振興センター（伏見区，山科区，東山区）

京北農林業振興センター（右京区京北地域）

☎075-222-3351

☎075-493-6660

☎075-321-0551

☎075-641-4340

☎075-852-1817

神戸市

神戸市経済観光局
農政部計画課
〒650-8570
兵庫県神戸市中央区加納町6-5-1
☎078-322-5351(直通)

神戸市は、一年を通じて晴天が多く、温暖な瀬戸内式気候のなか、西北神に広がる豊かな農業地域を活かして、ほうれん草やコマツナをはじめとする軟弱野菜やキャベツなどの野菜、新鮮・完熟が特徴のイチジクや梨などのフルーツ、



灘五郷のお酒の原料となる山田錦、美しい街並みを彩る花、世界に名を馳せる神戸ビーフ、など、神戸は多彩な農産物が生産される「食」の源泉となっています。

神戸市では、市内で農業を職業として取り組みたい方に対しての随時相談を行っています。

◆神戸市の農業

神戸市の農業地域は、消費地に近いことから、多様な農産物を直接届けることが可能です。情報収集を行いながら、どのような農産物を生産して販売するかなど、目指すべき農業経営をしっかりと描いてほしいと思います。

分類	品目	備考
野菜	キャベツ、小松菜、ホウレンソウ、ミズナなど	県下第2位
米	キヌヒカリ、コシヒカリ、ヒノヒカリ、山田錦、きぬむすめ	県下第3位
果樹	梨、いちじく、ぶどう、桃、イチゴなど	県下第1位
畜産	肉牛、酪農、豚	県下第5位
花	新鉄砲ユリ、花壇苗、トルコキキョウ、チューリップ、カーネーションなど	県下第3位
加工品	神戸ワイン、北神みそ、トマトジャム	

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 45名(うち新規参入 36名)
- ②品目 野菜栽培(施設6割、露地4割)が多く、直売所出荷が中心となっています。
- ③農地取得 研修先等からの紹介による農地の貸借が多いのが実態です。なお、神戸市における農地法3条許可下限面積は10aです。

◆就農相談会

神戸市では、下記「お問い合わせ先」で随時相談を行っています。
農業を始めたい方、また、考えている方は、まずは、下記「お問い合わせ先」
にお電話をお願いいたします（神戸市新規就農準備ガイドブックを進呈いたします）。

◆研修制度（体験）

神戸市では、農業に関心のある都市住民の方を農業サポーターとしての育成に
取り組んでいます。農作業支援を通じて、農業体験と農家の皆さんのやりがいや
苦労話などを聞くことができます。下記「お問い合わせ先」をお願いいたしま
す。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金）を活用できます。

◆神戸市の農業地域 （西区・北区）



【お問い合わせ先】 神戸市経済観光局 農政部 計画課 計画係
(神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館8階)
電話 078-322-5351

【ホームページ】

<http://www.city.kobe.lg.jp/business/promotion/industry/index.html>

堺市

堺市産業振興局農政部農水産課
〒590-0078
大阪府堺市堺区南瓦町3-1
☎072-233-1101(代表)

堺市は、大阪府の南部に位置し、府内で人口・面積ともに第2の都市です。市街地周辺に農地が多くあり、生産品目は軟弱野菜の施設栽培を中心に、野菜、畜産など消費地に近い有利な状況を生かした様々な農業経営が行われ、農業産出額は大阪府内で1位を誇っています。

堺市では、新規就農者支援相談窓口を設置し、農業技術・経営指導等に実績のある相談員が、本市で本格的な就農をめざす方に対して、面談等により疑問・問題にお答えし、相談内容に応じて就農に向けた段階的な支援を行っています。

◆堺市の農業

平地では、主に野菜や水稻、南部の山間地では温州みかんが生産されています。水稻は自家消費が中心です。野菜は軟弱野菜の施設栽培が中心で、コマツナ、シュンギク、ホウレンソウなどが栽培されています。また、施設ではトマトなどの果菜類の生産も盛んです。露地ではネギ、タマネギ、キャベツ、ブロッコリーなど様々な品目が栽培されています。果樹は温州ミカンが生産されミカン狩り園など観光農業にも力を入れています。畜産は酪農が中心に行われています。

◆新規就農相談窓口

年度	人数
H24	9
H25	3
H26	10
H27	7
H28	4

相談窓口からの新規就農者数

面談をおこない、堺市内での本格的な就農に向けて、農業技術がない方には技術習得の場を紹介するなどします。また技術はあるが農地がない方には農地を斡旋し、農地の利用権を取得する手続きを行います。

就農後も補助金による農業用機械・設備の整備や、技術・経営の相談をお受けします。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業（旧 青年就農給付金）、青年等就農資金のほか、新規就農者が行う機械・施設の整備を支援する堺ファーマー支援事業（新規就農者支援事業）があります。

堺市産業振興局農政部農水産課

【お問い合わせ先】

電話 072-228-6971 (直)
メール nosui@city.sakai.lg.jp



関西広域連合 就農促進サイト
<https://www.kouiki-kansai.jp/contents.php?id=2487>

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

